

10月の植物

ヒキオコシ (シソ科)

学名 : *Isodon japonicus*(burm.f.)H.Hara var.*japonicus*

花期は9~10月、葉は対生、茎は四角形で下向きの白毛がある。葉を噛むと強い苦みがある。名前の由来は弘法大師が諸国行脚の折、山道で倒れた旅人に出会い、本草の汁を飲ませると旅人は回復したという故事がある。この故事から起死回生の妙薬として、ヒキオコシ、延命草と呼ばれている。私は最近、白岩山、天山、鬼原山、彦岳、三瀬城ノ山で確認したが、佐賀県植物目録では「背振山、金山、雷山、天山、天川、八幡岳、腰岳、大野岳、国見山、春日、広川原、上岩屋、大野原（やや普通）」とある。どんな花が咲くか確かめるため彦岳で採取して畑の隅に育てたら1.8m程になって花をつけたので花を詳しく観察した。株立ちの頃はごつい感じだが、葉を噛んでみると苦みが強くヒキオコシとわかる。花は9月下旬にまばらで小さくかわいい花が咲いた。全体に零点数ミリの白毛が生えていて茎や葉を触ると優しい植物であることが分かった。薬草として食欲不振や胃薬として地上部を秋に採取し日陰干しにするとよいと説明されているので活用してみたい。

(文責 小池英毅)



参考文献

ポケット版「佐賀の薬草」佐賀県薬師会、「薬草観察ハンドブック」倉成靖任
「佐賀の野草」-下-貞松光男、佐賀県植物目録-1981-馬場胤義編 佐賀植物友の会
「日本維管束植物目録」米倉浩司 北隆館